

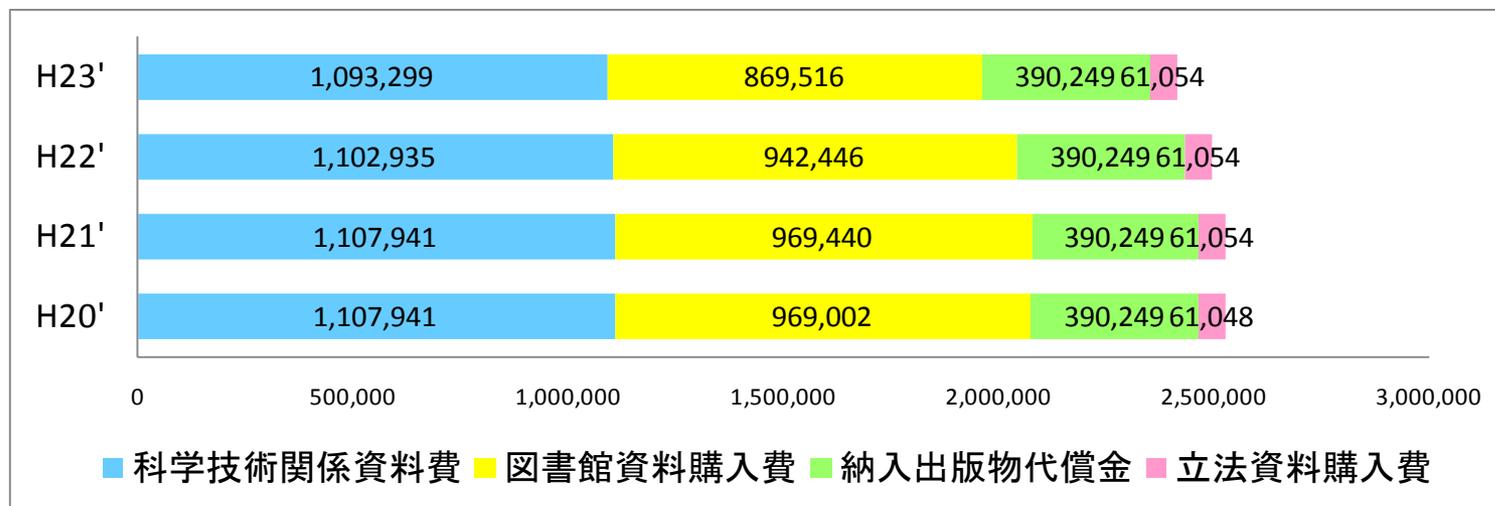
科学技術関係資料費の 現状と対応について

①資料費の現況

□ 資料費の推移

(当初予算：千円)

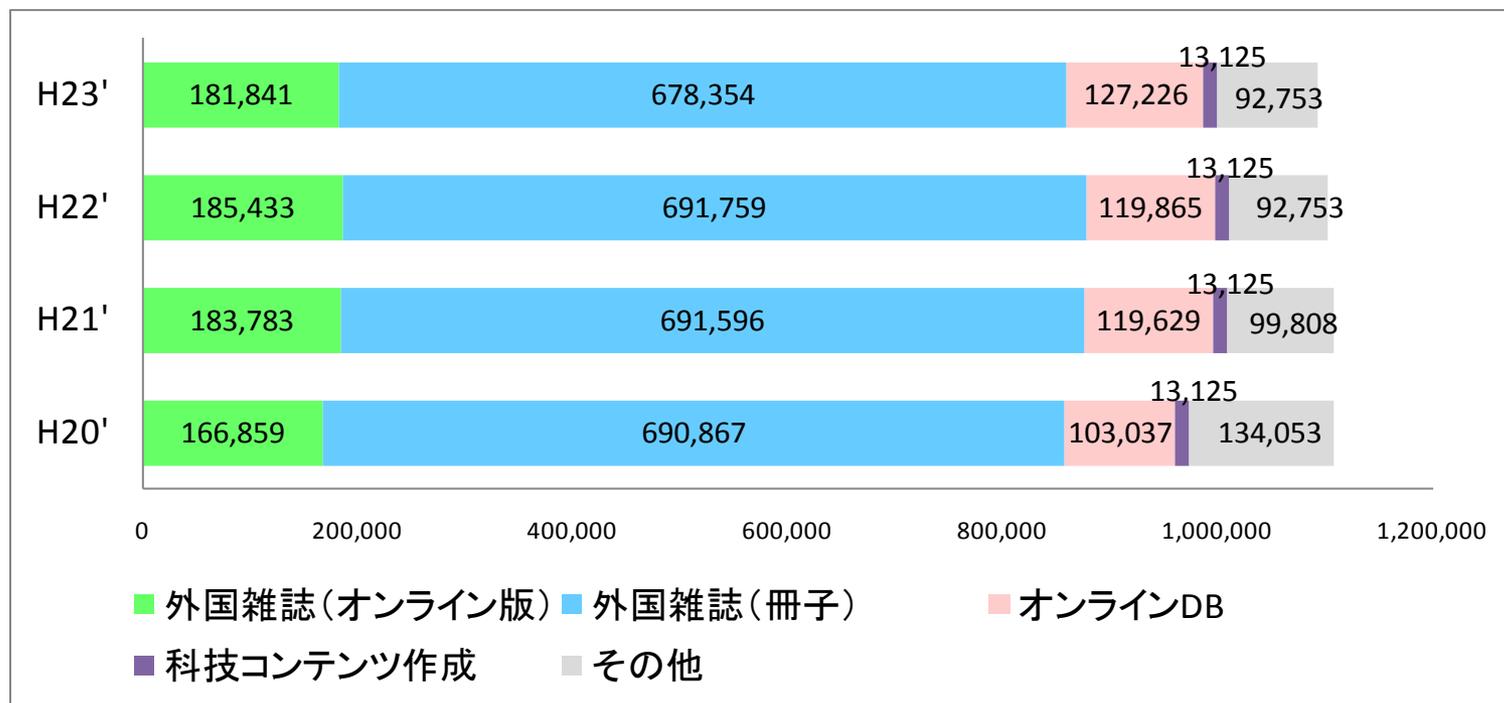
	H20'	H21'	H22'	H23'
科学技術関係資料費	1,107,941	1,107,941	1,102,935	1,093,299
図書館資料購入費	969,002	969,440	942,446	869,516
納入出版物代償金	390,249	390,249	390,249	390,249
立法資料購入費	61,048	61,054	61,054	61,054
合計	2,528,240	2,528,684	2,496,684	2,414,118



①資料費の現況

□ 資料費の内訳

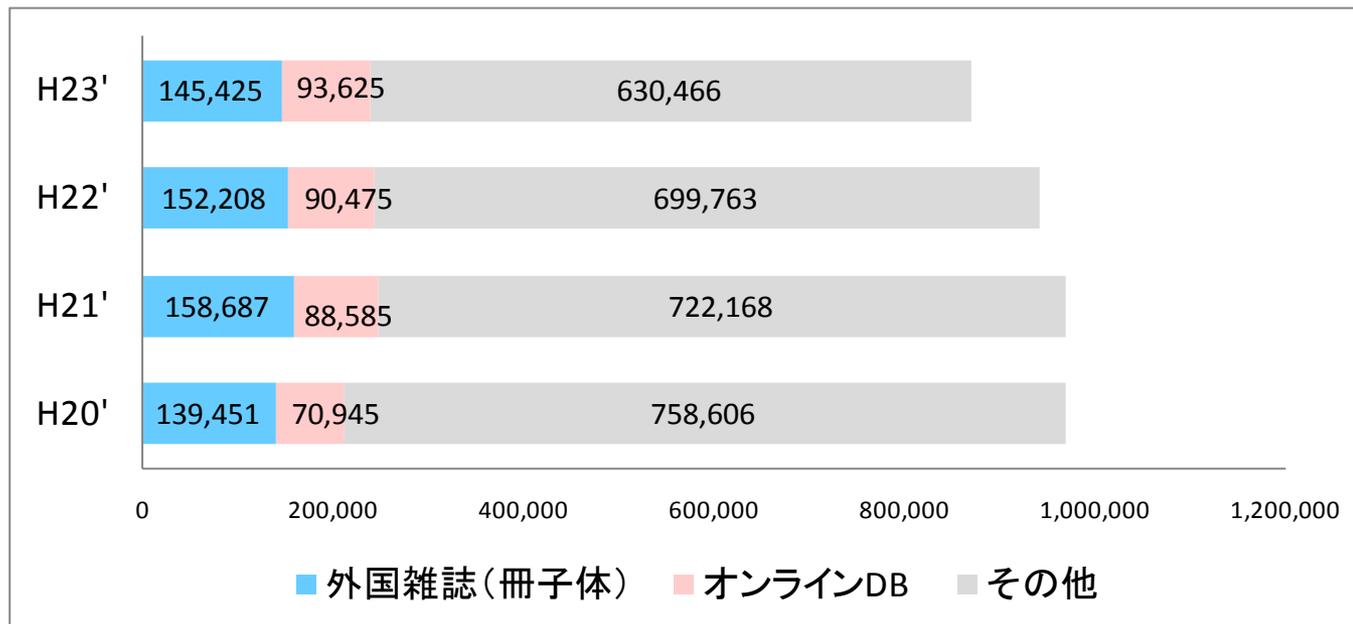
▣ 科学技術関係資料費の内訳



①資料費の現況

□ 資料費の内訳

▣ 図書館資料購入費の内訳



①資料費の現況

□ 科学技術関係資料の所蔵状況

(平成23年9月末現在)

資料群名	所蔵数（概数）
科学技術分野 和雑誌（うち受入継続中）	36,200種（11,900種）
科学技術分野 洋雑誌（うち受入継続中）	30,000種（6,100種）
欧文会議録	78,100件
海外テクニカルレポート	2,639,100件
規格（内外とも）	131,000件
学協会ペーパー	176,300件
海外博士論文	471,700件
国内博士論文	547,051件
文部科学省科研費成果報告書等*	187,700件
原子炉設置（変更）許可申請書	1,700件

□ *厚生労働科研費・事業報告書及び循環型社会形成推進科研費・事業報告書含む。

①資料費の現況

□ オンラインデータベースの導入状況

(平成23年10月末現在)

□ 全文電子ジャーナル 外国13件 国内7件 (欧文誌 約20,600タイトル)

主要データベース名	内容	言語
Science Direct	主に科学技術関係 約2,400誌	欧文
OCLC ECO	主に科学技術関係 約960誌	欧文
Bio One	生物科学 約100誌	欧文
IoP	英国物理学会 約80誌	欧文
ProQuest Central	全分野 約12,200誌	欧文
EBSCOhost	全分野 約7,400誌	欧文
中国学術雑誌全文データベース (CAJ)	全分野 約9,000誌	中国語
韓国学術論文データベース (KISS)	全分野 約1,400誌	ハングル

□ 抄録・索引データベース 外国17件 国内4件

Web of Knowledge、EiCompendex、CSA Illumina、JDrean II、医中誌Web など

□ その他データベース 外国10件 国内5件

Reaxys、理科年表プレミアム など

②資料費逼迫への対応

□ 資料費の課題

毎年価格上昇する外国雑誌(冊子)が予算を大きく占める。同じ規模の雑誌の購入は続けられない

□ 購入外国雑誌(冊子)のタイトル削減

削減年度 (削減開始年月)	費目	契約数	削減数	新規数	削減対象誌
平成20年度 (2009.1～)	科技費	3,339	419	3	・電子ジャーナルの利用(特に最新版)が可能なもの ・冊子体の利用の少ないもの
	図書費	3,218	217	44	
平成21年度 (2010.1～)	科技費	2,968	0	8	・複本又は電子ジャーナルで全文を最新版も含めて利用可能なもの ・ネットワーク系電子出版物に切り替えるもの
	図書費	2,866	35	15	
平成22年度 (2011.1～)	科技費	2,933	157	3	・JSTからの寄贈タイトル
	図書費	2,807	136	12	・遠隔複写の実績が少ないタイトルのうち、冊子体と電子ジャーナルが重複しているもの
平成23年度 (2012.1～)	科技費	—	292	0	・JSTからの寄贈タイトル ・10年以上購読しているが利用が極めて少なく、国内に複数の継続所蔵機関があるもの ・利用動向調査から外国雑誌へのニーズが低い分野(建設、機械、電気、数学、宇宙)の中でも利用が少なく、国内に複数の継続所蔵機関があるもの
	図書費	—	0	4	

②資料費逼迫への対応

□ JSTからの外国雑誌(冊子)の寄贈

- ・平成21年度から、JST購入外国雑誌のNDLへの寄贈、及びNDL購入外国雑誌によるJSTの書誌データ作成の事業が開始。
- ・JSTからNDLへの寄贈タイトル数:2009年62誌、2010年49誌、2011年148誌、2012年120誌(予定)、合計約380誌

□ オープンアクセス資料等の利用

- ・テクニカルレポート ウェブ公開率が99%以上(当館所蔵分のレポート調査)
ADレポート及びNASAレポート ⇒平成22年3月刊行分で打ち切り
DOEレポート ⇒平成22年12月刊行分で打ち切り
- ・医学誌 無償閲覧可&エンバーゴなし0タイトル、エンバーゴ半年2タイトル、エンバーゴ1年以上 28タイトル(当館購入タイトル医学分野51誌の調査) ⇒打ち切りなし

◎機関リポジトリ、オープンアクセスの拡大+ナビゲーションサービスによる環境改善

③今後の資料費の方向性

□ 今後の外国刊行科学技術資料収集の方向性

分野別、かつ、資料種別(参考図書、論文集、会議録、雑誌などの別)での収集の優先順位を決める

(例)

数学、宇宙科学:雑誌のニーズは低いが、参考図書のニーズは高い

電気工学・情報通信工学:雑誌のニーズは低いが、会議録のニーズが高い

□ 参考とする調査

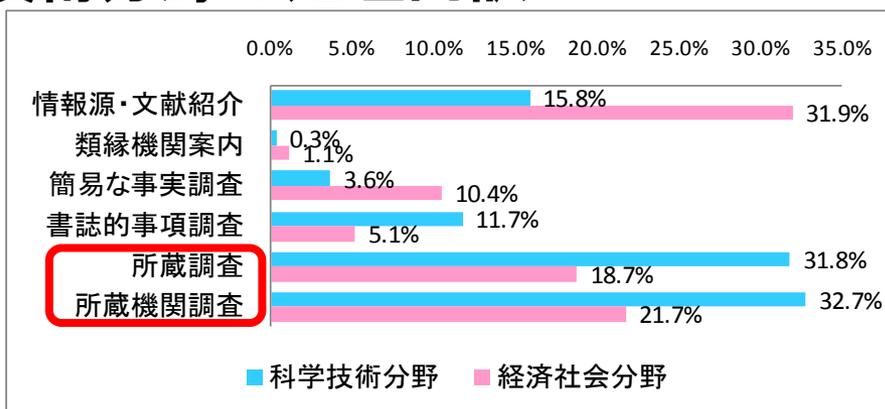
文書レファレンス調査、複写動向調査、
当館への蔵書要望調査など

③ 今後の資料費の方向性

□ 文書レファレンス調査（平成21年5月～平成23年2月）

[科学技術分野 処理文書:373通 処理件数727件（参考:経済社会分野 処理文書260通、処理件数470件）]

■ 科学技術分野の処理内訳



■ 外国刊行資料の所蔵/所蔵機関調査の結果内訳

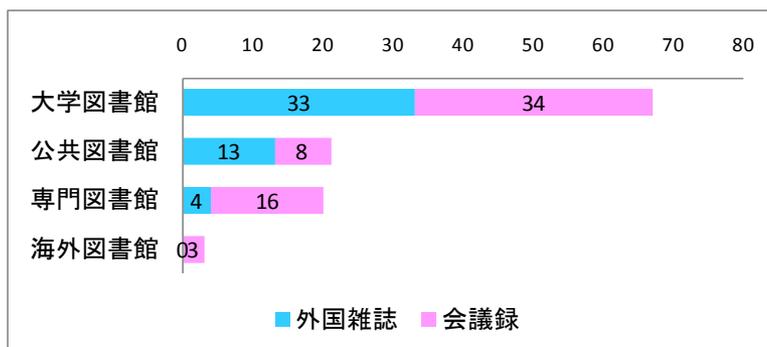
	NDL	国内他機関	海外	Web	所蔵なし	合計
図書	2	6	3	0	7	18
雑誌	6	11	20	2	11	50
会議録	4	10	21	0	26	61
テクニカルレポート	2	1	4	2	12	21
その他	3	3	1	0	3	10
合計	17	31	49	4	59	160

(単位：処理文書通)

③ 今後の資料費の方向性

□ 文書レファレンス調査 (平成21年5月～平成23年2月)

■ 外国雑誌・会議録の所蔵機関調査の依頼機関内訳



■ 所蔵機関調査で他機関を案内した資料の分野

	科学技術一般・ 数学・物理学	工学	化学	生物学	医学・薬学	合計
図書	2	1	2	3	1	9
雑誌	3	0	6	10	12	31
会議録	10	5	11	0	5	31
テクニカルレポート	1	3	1	0	0	5
その他	0	2	1	0	1	4
合計	16	11	21	13	19	80

(単位：処理文書通)

③ 今後の資料費の方向性

□ 複写動向調査 (平成23年4月~9月)

[来館複写381,231件、遠隔複写138,917件、全520,148件 (単位:申込書誌件数)]

■ 複写全体における資料種別割合

	図書・非図書	雑誌	新聞	その他	計
来館複写	38%	51%	9%	2%	100%
遠隔複写	8%	89%	2%	1%	100%

* 電子資料、マイクロ資料を含む

■ 雑誌の複写における科学技術分野の割合

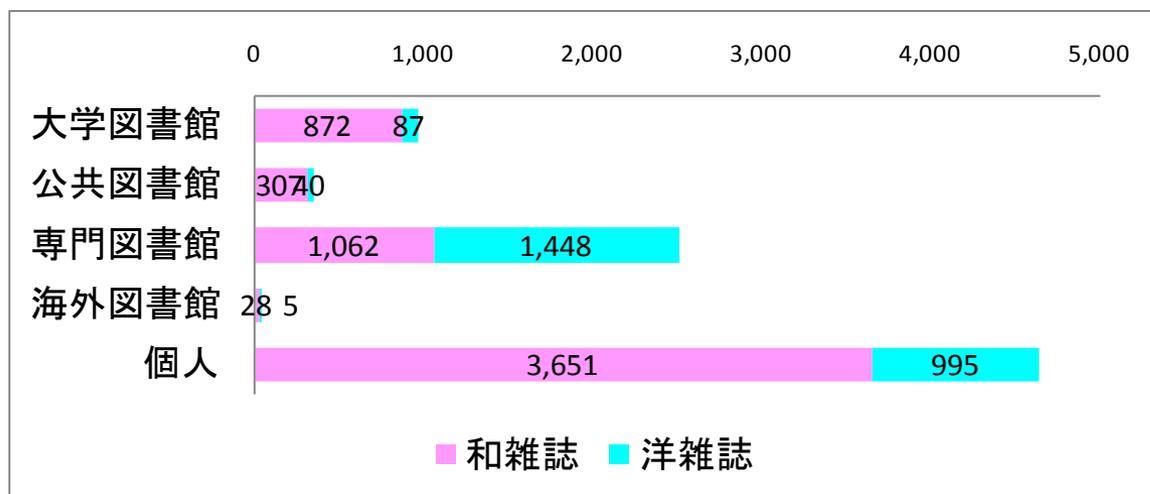
	和雑誌		洋雑誌	
	来館複写	遠隔複写	来館複写	遠隔複写
科学技術分野	32%	34%	89%	95%
その他分野	68%	66%	11%	5%
計	100%	100%	100%	100%

* 電子資料、マイクロ資料を除く

③ 今後の資料費の方向性

□ 複写動向調査 (平成23年4月~9月)

■ 遠隔複写における科学技術系雑誌申込件数(月平均)



③ 今後の資料費の方向性

□ 複写動向調査 (平成23年4月~9月)

■ 科学技術分野別申込件数内訳

和雑誌



洋雑誌



③今後の資料費の方向性

□ 当館への蔵書要望調査 (平成23年2月～[継続中])

■ 訪問先

文書レファレンス主要依頼館や外国雑誌センター館など
平成23年11月までに大学図書館6館、専門図書館4館を訪問

■ 調査内容

外国刊行資料について、分野別かつ資料群別(図書・雑誌・会議録・テクニカルレポート等)の文献の入手方法、当館への蔵書要望など

■ これまでの調査結果概要

- ①数学・宇宙科学: 確立した理論にニーズがあり、研究途上の理論(雑誌・会議録)のニーズは少ない
- ②地学・地球科学: 数十年以上経過した資料(会議録・テクニカルレポート)にもニーズが見られる

③ 今後の資料費の方向性

□ 当館への蔵書要望調査 (平成23年2月～[継続中])

■ これまでの調査結果概要(続き)

- ③ エネルギー工学・電気工学・情報通信工学:最新の資料(会議録・テクニカルリポート)にニーズがあり、数年経過してからまとめられた文献(雑誌)へのニーズは少ない
- ④ 機械工学:最新の資料(会議録・テクニカルリポート)にニーズがある一方で、50年以上経過した資料にもニーズあり
- ⑤ 建設工学:メジャーな一部の雑誌に利用が集中
- ⑥ 材料工学・金属工学・化学工学:幅広いニーズがある。最新のものから数十年を経過したものまで、会議録・テクニカルリポートにも雑誌にもニーズがある
- ⑦ 生化学・バイオテクノロジー:幅広いニーズがある。最新のものから数十年を経過したものまで、雑誌とデータ集にニーズが見られる
- ⑧ 動物学・植物学:数十年以上経過した資料(主に雑誌)にニーズが見られる
- ⑨ 医学:雑誌にニーズが見られる